

「人づくりとまちづくり」

合戸

Q：人づくり、社会教育の場は公民館。公民館を行政の出先機関ということでなく、コミュニティ活動推進協議会を立ち上げて活動を活発にしていけば、やがて人づくりができて、班への加入促進にもつながる。公民館のあり方の考えを改めてほしい。

A：確かに公民館はコミュニティ活動の拠点となるところ。ただ地域ごとに違いがあり、歴史があった。少しずつ社会教育の場になり地域のコミュニティを醸成する場としての公民館づくりを進めていきたい。今後とも協力してほしい。

大山

Q：アスパルの祝日開館で便利になった。イベントのマスメディアによる宣伝効果は抜群。せっかくのアスパルで開かれるすばらしい展示やイベントをCATVの音声告知放送を使って市民にも知らせてほしい。

図書館は蔵書も多く来館者も大勢でサービスもいいすばらしい図書館だ。ただ入り口の掲示板に少林寺拳法やスポ少の掲示ばかりだ。大勢の来館者の目に触れるのだからもう少し市民に開放して、頑張っている市民や市民のサークルなどの呼びかけに活用できないものか。

A：CATVはなるべく多くの番組を提供しようと努力している。デジタル放送への転換に伴って、市の特別番組になるか行政情報番組となるかわからないが専用チャンネルを設ける。そこで様々なイベントが紹介できるようになる。

門屋

Q：町内会が大切。地区公民館として活動してきたが町内会がなければできなかった。幼・小・中の子どもたちの育成に大事なメッセージを送ることができるのは町内会だ。門屋町内会のイベントではすべて役割を持たせている。子どもたちも「みんなのためになってうれしかった」という。こういう地域の活動は大切だ。しかし町内会は財政難。

子どもたちを巻き込んでの活動を奨励して、町内会へ10万円程度くらいで交付してくれるなどの助成制度はできないか。

A：財政は確かに厳しい。行政改革の中で節約や補助金の見直しをしている。地域の高齢者から子どもたちがひとつになっての町内会活動によって、地域に元気が出る。活力がみなぎるためのイベントであれば補助してもかまわない。こうしたまちづくりのために使っていくのであれば新年度予算で検討したい。

中町

Q：池新田は班外人口が多く、ごみ集積所へのルール問題なども持ち上がっている。やはり人と人とはあいさつから。一般市民にもあいさつ運動を促進してほしい。

A：もっともな話。ただ、職員にも先頭に立ってあいさつをしようと運動を展開している。班へ加入率は 69.7%。3 世帯に 1 世帯は加入していない。特に市街地の池新田などは 54.2%の加入率。災害時の助け合いは人として必要。やはり近所の顔ぶれは押さえておいてほしい。あいさつ運動も良い手段だろう。引き続き班への加入を促進する。